

白松沢中俣左沢

1991年7月27日

L†

大戸岳の山頂でひと休みして、下降に移る。山頂のやや西側から回り込むようにして沢に入る。稜線直下はカラリとした林だったが、下るにしたがってヤブが現われる。12時50分、水が出て来る。しかし2つの小滝を下るとその水も溜れ、再びカレ沢となる。このあとまた水の流れが出てくるが、滝もかからないまま右沢との合流点に達してしまった。

(記・)

[タイム] 大戸岳(12:25)→右沢出合(13:55)

深 沢

1991年7月27日

L

大戸岳の山頂で大休止したあと、大戸山方面への登山道を15分程下って、深沢への下降を開始する。すぐにルンゼ状の下りとなり、10mのカレ滝が出て来る。このにあと右岸から顕著な沢を合わせると、いよいよ本格的な沢の下降となる。

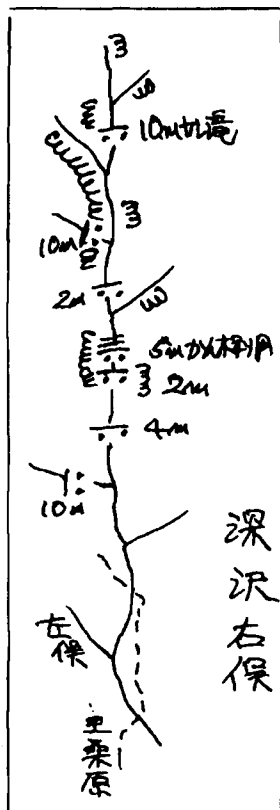
40分程下ったところで、5mの滝。灌木を利用して左岸を下る。このあと沢はいったん伏流となるが、7m滝のすぐ上流で水が音をたてて湧き出てきた。

7m滝は、左岸の樹木を利用して下る。続いて10m2段滝が出て来る。この滝上部は左側の流れにそって下り、下部は灌木帯に入り込んで下る。シャワーで直登することはできそうであるが、下りはなかなか骨がおれた。

このあとすぐに踏跡が出て来る。桑原から大戸岳への登山道である。この登山道は、右俣を合わせた先で沢から離れてゆく。下降を続けるか、登山道に上がるか、ちよっと迷ったが、結局登山道に上がることにする。下降終了14:40。

(

[タイム] 大戸岳(12:20)→下降点(12:35)→登山道出合(14:25)→下降終了(14:40)→桑原(15:40)



白松沢中俣右沢

1991年7月27日

Li

夏合宿の一貫として、大戸岳の南面の沢、白松沢に入る。我々の目標は中俣右沢を遡行し、深沢の下降である。白松沢の右俣を遡行し、中俣左沢を下降予定の橋内・鈴木パーティと最初は同一行動をとる。

出合からすぐナメが断続した時は、この先期待がもてると思ったのだが、導水管と取水堰を過ぎたあとは、全く平凡となってしまった。出合から取水堰までが10分、そのあと右俣出合まで90分間は、河原歩きがえんえんと続いた。

9:10右俣出合。ここで小休止をとり、橋内・鈴木パーティと分かれて中俣に入る。沢はこのあたりから傾斜を増してきたが、滝はかからない。

9:45左沢出合。左沢はカレ沢となっている。右沢はもう細いが、兩岸が狭まり、なにかありそうな予感がする。案の定、小滝が連続して現われた。小滝5つを越えた先の6mは、右岸を直登する。下部はシャワークライムとなった。続く6m2条の滝は、若干ナメ状。私は左の水流にそって、小野さんは右の水流にそって、それぞれにルートを求めて登る。次の4mは、左岸の草付きを登って捲き、最後の3mは、左岸の草付きを微妙なバランスで越し、小野さんにシュリングを出す。ここがこの沢のハイライト。あとはルンゼ状となった急傾斜のミゾを登りって、11:20大戸岳東方の登山道に出る。

[タイム] 白松沢出合(7:25)→取水堰(7:35)→右俣出合(9:10, 9:25)→沢終了(11:10)→大戸岳(11:30)

